

公共事業事前評価調書(令和2年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 災害砂防班

事業名	屋慶名(4)地区急傾斜地崩壊対策事業		事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	うるま市与那城屋慶名地内					
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A=約0.25ha(指定予定) 地山補強土工、落石対策工、落石除去工 各一式					
事業の概要	<p>当該地区は、うるま市与那城屋慶名地内に位置する北西向き斜面で、平均がけ高18.0m、平均勾配33.7度の急傾斜地である。保全対象は、がけ下の人家7戸である。</p> <p>平成29年6月に西側斜面が崩壊し、がけ下の住宅に隣接していた小屋が崩壊土砂により破壊された。住宅に被害はなかった。西側斜面以外にも小崩壊を起こしており、周辺住宅には被害はないが、斜面上に転石が多数見られること、頂部の琉球石灰岩の亀裂が発達しており落石の危険性がある。今後も変状が進行する恐れがあることから、急傾斜地崩壊危険区域の指定を行い、吹付法枠工やワイヤーロープ掛工等の対策を実施し、住宅、道路への土砂災害を未然に防止する。</p>					
事業の必要性・効果等	<p><必要性> 当該地区は、斜面に多数の転石等が確認されていることから、斜面全体が不安定な状態となっている。斜面直下には住宅及びうるま市地域防災計画に位置づけられた避難道路が隣接している。事業の実施により、周辺住民の生命・財産の保護が図られる。</p> <p><効果等> 人家7戸の住民の生命・財産を守ることができる。</p>					
事業期間	事業採択	令和2年度	完了(予定)	令和4年度		
全体事業費	1.11	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	1/2
費用対効果	B/C	総便益: B	2.60	(億円)	総費用: C	1.06 (億円)
	= 2.46	① 被害軽減便益 2.60億円		① 事業費 1.06億円		基準年 平成 30年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」の中で「(4) 社会リスクセーフティネットの確立」として、土砂災害の防災対策への取り組みが位置づけられている。</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画において、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」として「土砂災害対策 急傾斜地崩壊対策事業」が位置づけられている。</p>					
環境への配慮	<p>海岸線や低地部から見上げた時の眺望を阻害せず緑の稜線を守るよう、現状を大きく改変しない工法を選定する。吹付法枠の緑化等に行い環境に配慮する。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>平成29年8月に屋慶名自治会長からうるま市長宛に土砂崩れの対策に対する要望が提出されている。</p> <p>平成30年6月にうるま市から県への要望があった。</p>					
概要図(位置図)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>事業箇所</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p> <p>うるま市与那城屋慶名</p> </div> </div>					